

第2会場 セッション2 No.3	訪問看護師と連携し退院指導の改善につなげる	
	発表者	吉村 美帆（岐阜県 国民健康保険上矢作病院）
	共同研究者	安藤 悦子（岐阜県 国民健康保険上矢作病院）

### 【はじめに】

昨年退院指導用パンフレットを作成し、岐阜県国保学会で報告した。作成したパンフレットを使用して行っている退院指導が在宅で活かされる内容であったか、訪問看護師に同行し検証した。在宅への訪問、在宅での指導も経験し、指導内容の修正や指導項目の追加などを行い、さらにより良い退院指導へ繋げられるように取り組んだ。

### 【目的】

訪問看護師と連携し退院指導が在宅で活かされているか確認し、退院指導の改善に繋げる。

### 家族からの聞き取り

（病棟看護師が訪問看護師に同行）

事例① 93歳 女性 家族構成：本人 息子夫婦 娘の4人暮らし 退院指導はオムツ交換・陰部洗浄・口腔ケア・体位交換・車椅子への移乗・ベット上での平行移動を実施。主に娘が介護を担当し、息子の妻も介護に協力している。病棟での退院指導は娘のみに行った。

娘



パンフレットの内容は理解できたが、難しいのはオムツ交換。中のパットがうまくあてられず、偏ることが多く、後で直そうと思っても難しい。



在宅指導の様子

個々の家庭状況を把握し、指導回数や交換方法などを設定する

事例② 97歳 女性 家族構成：本人・息子夫婦・孫の4人暮らし

退院指導はオムツ交換・膀胱留置カテーテル管理を実施。デイサービスに月～金曜日まで行っており、陰部洗浄は見学のみ行った。

主に息子の妻が介護を担当し、大変な時は息子も手伝っている。病棟での退院指導は息子の妻に行い、息子も同席されていた。

息子の妻



年末になり10日間ぐらいサービスが入らない間、いろいろなことを、家でやらないかんね。



個別に必要な指導のみでなく、基本的な介護の指導も行う

## 訪問看護師からの聞き取り

### 〈退院指導用パンフレットについて〉

- ・陰部洗浄のパンフレットに便が出た時の対処法を入れてほしい
- ・バルンカテーテルのチューブトラブルの写真があると分かりやすい
- ・退院指導を受けても、家族だけで行うのは難しく、在宅で指導を継続することが大切

### 〈パンフレットの内容以上で家族に指導したこと〉

- ・バルンの皮膚トラブルの予防、ミルキングの方法
- ・オムツの捨て方、新聞紙の活用方法
- ・ギャッチアップ、下へずり落ちた時の体位の整え方

排便時の対処法・バルントラブルの対処法をパンフレットに追加  
体位の整え方については 現在パンフレット作成中

訪問看護ステーションで情報交換の様子



### 【まとめ】

退院された患者と家族からの話、訪問看護師との情報交換・共有にて、パンフレット・退院指導がどのように活かされているか、どのような事が困難なのかを知ることが出来た。今後も訪問看護師と連携し、パンフレット・退院指導の改善を行い、安心して在宅生活を迎えられるよう援助していく。